

## 佐用郡佐用町 船越山域のカミキリ相の解明に向けて (6) 2014 年に採集したカミキリムシ

三木 進<sup>1)</sup>

船越山域で 2014 年に、新たに 4 種類のカミキリムシを採集、確認した。これで同山域に分布するカミキリムシは 116 種となった。今回リストに加えたアカネトラカミキリは、幼虫がヤマブドウの比較的新しい枯れヅルに入り、早春にこうしたツルを割ると蛹室に入った新成虫に出会える。過去に私が採集した 85 頭の内、材からではなく、花上で得たのは 3 例のみである。同じく、スギノアカネトラカミキリは、岡田浩資氏によって 2 頭採集された。幼虫はスギ生木の枝打ちされない枯れ枝から侵入し、枝から幹に移って材部を食べる。その経路から腐朽菌も入り、いわゆる「飛び腐れ」の原因となることが知られている。近年、兵庫県など関西各地と東北などで被害が出ていると言い、当地域でもスギの食害が進んでいることを伺わせる。カミキリ相解明に協力願っている岡田氏に、この場を借りてお礼申し上げる。

### カミキリ亜科

1. ズマルトラカミキリ *Xylotrechus lautus lautus*  
1 ♂, 琉璃寺駐車場付近, カマズミの仲間の花上, 31. V. 2014, 岡田浩資氏採集
  2. アカネトラカミキリ *Brachyclytus singularis*  
1 ♀, 琉璃寺山門付近のカエデ花上, 24. IV. 2014, 三木進採集
  3. スギノアカネトラカミキリ *Anaglyptus subfasciatus*  
1 ♀, 佐用町昆虫館内, タンナサワフタギ花上, 18. V. 2014,  
1 ♂, 琉璃寺参道, カマズミの仲間の花上, 31. V. 2014, 岡田浩資氏採集
- ※ . キイロトラカミキリ *Grammographus notabilis notabilis*  
1 ♂, 佐用町昆虫館 11. VI. 2014, 三木進採集 本種は内海コレクションにも含まれ、筆者自身も「きべりはむし第 34 巻第 2 号」に 7 月の採集例を報告しているが、一般には、軒に積まれた薪などから、一斉に羽脱し、2, 3 日で分散する。宍粟市の音水や赤西では 6 月上旬に多い。佐用町昆虫館付近での一斉羽脱の X デーを探るために、報告しておく。

### フトカミキリ亜科

#### 4. タカサゴシロカミキリ *Olenecamptus formosanus*

1 ♂ 1 ♀, 2013 年 12 月に、「琉璃寺のサワグルミ」の枯れ枝を持ち帰ったところ、翌年羽脱した。10. V. 2014, 三木進採集

#### ※ . ジュウクロカミキリ *Clytosemia pulchra*

1 ♂, 2013 年 12 月に持ち帰った「琉璃寺のサワグルミ」の枯れ枝から、翌年 5 月 2 日に羽脱した。長林キャンプ場のオニグルミの枯れ枝からも羽脱したが、今回、サワグルミからも発生を確認した。

### 参考文献

- 三木 進, 2010. 佐用郡佐用町 船越山域のカミキリ相の解明に向けて (1) 内海功一コレクション. きべりはむし, 32(2): 18-19.
- 三木 進, 2010. 佐用郡佐用町 船越山域のカミキリ相の解明に向けて (2) 2008, 2009 年に採集したカミキリムシ. きべりはむし, 32(2): 20-22.
- 三木 進, 2011. 佐用郡佐用町 船越山域のカミキリ相の解明に向けて (3) 2010 年に採集したカミキリムシ. きべりはむし, 33(2): 21-22.
- 三木 進, 2012. 佐用郡佐用町 船越山域のカミキリ相の解明に向けて (4) 2011 年に採集したカミキリムシ. きべりはむし, 34(2): 10-11.
- 三木 進, 2013. 佐用郡佐用町 船越山域のカミキリ相の解明に向けて (5) 2012, 2013 年に採集したカミキリムシ. きべりはむし, 36(1): 10-11

<sup>1)</sup> Susumu MIKI 兵庫県明石市